

「生理」から考える リプロダクティブヘルス・ライツ

(生殖にかかる健康と権利)

開催日時：令和3年7月15日(木) 12:30~13:00

1部 7分情報館 情報提供：東 あかね(保健管理センター所長)

2部 言葉を重ねて(フリートーク・まとめ)：伊藤 公雄(ダイバーシティ推進室長)

ご存知ですか？

女性は毎月平均5日、1年に換算すると約60日間「生理(月経)」対応していること…
多くの女性がひどい生理痛で悩んでいること(*1)…
若者の5人に1人が、生理用品を買うのに苦労していること(*2)…

今回は、「生理(月経)」と体について知り、ダイバーシティの課題の中でも、難しいとされるリプロダクティブヘルス・ライツ(生殖にかかる健康と権利)について考えます。

日本では、「生理」を話題にすることは禁忌とされてきた歴史がありますが、女性の身体的な特徴を理解することは、ダイバーシティ(多様性の尊重)推進のためには必要なことです。正直…ちょっと抵抗がある話題かもしれませんが、とても大切なことです。1部だけの視聴もOKです!! ぜひ、ご参加ください。

(*1)生理(月経)のたびに生理痛を経験している人が約30%、ときどきある人まで含めると、80%以上の人が生理痛を経験している。

「生理のたびに生理痛がある」人は若い女性ほど多く、20代では約半数、40代後半では約20%(日本新薬、全薬製薬 web サイトより)

(*2)令和3年3月、若者の5人に1人が「生理用品を買うのに苦労した」という調査結果が発表されている(「#みんなの生理」調査より)

◆ ご参加にあたって

- ・ インターネット接続環境は必須ですが、お好きな場所から参加できます。
- ・ 昼食をとりながら参加いただけます。
- ・ 中途退出も可能です。

下記 URL より Teams へアクセスし、「ダイバーシティ推進室『りもらんの日』」よりご参加ください。

<https://teams.microsoft.com/l/team/19%3aa3425a4ba5dd44eabd110fa882758fe7%40thread.tacv2/conversations?groupId=b81c142d-4a09-485c-ab24-9534f8b43924&tenantId=1e0b6cc8-2a42-4cfe-9691-298635579a2b>

コードで参加する場合は、Teams へログイン後、下記コードを入力しご参加ください。

【チームコード】8yr4kbs

◆ 主催 ダイバーシティ推進委員会(意識醸成小委員会)

◆ 問い合わせ ダイバーシティ推進室 担当者：井坂・伊藤 電話：075-705-3125(内線：6734)